

大阪で技術講習会

工法や活用について情報提供

ミラクルソル協会

ミラクルソル協会（原裕理事長）は8月21日、第23回ミラクルソル工法技術講習会を大阪市内で開いた。建設会社、コンサルタン

ト、官公庁などから約280人が参加。ガラス廃材を再資源化したミラクルソルを使った環境負荷低減工法や水・環境分野での活用などについて情報提供した。

原理事長は「ミラクルソルを活用した29の工法を提案しており、ほとんどの都道府県の建設工事に採用されている」と実績をアピールしながら、

「ミラクルソルしながら、工法がどのようなものか再認識してほしい」と参加者に呼び掛けた。

講習会では、原理事長と前佐賀大学低平地沿岸海域研究センター長の荒木宏之同協会顧問となった大阪科学技術センター大ホールを埋めた参加者



問がそれぞれ講演。ミラクルソルを活用した環境土木、環境緑化工法や水・環境分野での活用事例について解説した。

また、国土交通省近畿地方整備局企画部の宮川久技術調整管理官が最近の公共事業の動向についての特別講演を行った。